

お久しぶりです！日本にいらっしゃる皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。正直申し上げると、日本で起こる様々なことが気になり、毎日インターネットで日本のニュースをチェックしております、。

それでは、今回は自分の任地であるカティマ・ムリロ（Katima Mulilo）と配属先であるザンベジ職業訓練センター（Zambezi Vocational Training Center）を紹介します。

任地について

任地であるカティマ・ムリロは、ナミビアの最北東部に位置し、地図で見ると、突き出ている先端部分にあります。ザンベジ州の州都になります。気候は暖かく、日中はほぼ一年を通して、半袖で過ごすことができます。ただ、乾季の4月～9月は、朝晩に長袖が必要になります。また、昨年夏の11月頃には、日中45度近くまで気温が上がりました。

カティマ・ムリロの中心地には、スーパーマーケット、洋服屋、靴屋、各種雑貨屋のほか、銀行、郵便局、病院、薬局などあり、特に不自由なく生活することが出来ます。また、レストランやファーストフード店も数店あり、お寿司を食べられるレストランもあります。

また、カティマ・ムリロは他のナミビアの地域と違い、ザンベジ川が近くにあることから、緑が多く、そのためクルージングや魚釣りを楽しむことが出来るようホテルやコテージが川沿いに多くあります。



カティマ・ムリロの街の様子

配属先について

配属先であるザンベジ職業訓練センターは、設立された1993年当初は教育省配下にありましたが、2008年の法律改正に伴い、教育省傘下にNTA(Namibia Training Authority)が設立され、同センターも現在その管理下にいます。

現在は、ブロック建築科、服飾科、木工科、観光科、設備・配管科、運営管理科、溶接科、2つの農業科を有し、グレード10（日本の中学3年から高校1年程度）を卒業した生徒が通っています。生徒数は620名程度で、教員数30名程度になります。2017年4月から青年海外協力隊を受け入れています。

次回は、民族と食について紹介します。



パソコンを使用した授業風景